

もっと身近に 共生社会

◎協働まちづくり課

コミュニティ推進室

TEL44・3107

地域社会における男女共同参画

～男女が共に活躍できる地域社会へ～

新年度となり、地域の行事や活動が新たなメンバーで始まっていきます。そのような中、今回注目して欲しいテーマが「男女共同参画」です。

■地域における男女共同参画

2015年の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の中にも、男女平等を目指す目標が含まれているとおり、男女ともに働きやすい環境づくりや家庭での家事の役割分担など、男女共同参画の考え方が重要視されています。

この考え方は、職場や家庭だけでなく、地域社会においてもとても重要です。



例えば、自治会の役員は現在、男性が中心となっています。しかしながら、女性が自治会の役員として参画することで、女性ならではの視点が加わり、運営が上手くいったケースや、活動への参加者が増えた事例もあります。

■思い込みや偏見に

気付くことが第1歩

男女共同参画を推進するためには、まずは思い込みや偏見に気付く、それを見直すことが重要です。

「自治会役員は男性がやるもの」「地域の子ども向けイベントの対応は女性が向いている」などの考えを改め、男女問わず、様々な場面でそれぞれが個々の得意分野を活かすことで、誰もが活躍できる社会を目指しましょう。



ふくろい 懐かしの風景

vol.28

生涯学習課
文化財係
TEL 23-9264

宮の前Bガード(愛野)

愛野駅は2001年4月22日に、東海道線袋井駅と掛川駅のほぼ真ん中に開業し、今年で開業して四半世紀を迎えます。

現在、ボーラ化成袋井工場の東に東海道線と新幹線をくぐるガードがありますが、実は、このガードは愛野駅の完成以前からありました。

左上の写真は、1998年に撮影されたガードです。このガードは、国鉄時代からの正式な名称は「宮の前B」ですが、市民には通称「ボーラのガード」と呼ばれて親しまれていました。

国本方面から浅羽方面へ向かう人にとっては便利な道で、交通量も多かったです。やがてカーナビが普及すると、さらに掛川方面から抜け道として使う車も多くなりました。

現在、このガード(左下の写真)は愛野駅の開業に伴って改良されて広くなり、引き続き袋井市の南北交通の重要な役割を果たしています。

◀掛川方面

▶磐田方面



宮の前Bガード(平成10年頃に撮影)

◀掛川方面

▶磐田方面



宮の前Bガード(現在)